

なかまだみんな



横浜市立中和田南小学校

電話 802-0979

子どもも大人も さらなる成長を目指して

副校長 徳永久美子

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。友達や先生との再会を喜ぶ姿や楽しそうに話す姿を見ると、子どもたちを迎えられた喜びとともに、大きな事故や病気もなく、元気に登校してくれたことに安堵しています。この夏も各地で自然災害が発生し、厳しい暑さも続きました。被害に遭われた方々や避難生活を送っておられる方々に心を寄せるとともに、子どもたちが安全に過ごし、日常を送ることができるありがたさを改めて感じています。

子どもたちは、この夏休みをどのように過ごしたのでしょうか。いつもよりゆったりとした時間の流れの中で、普段は見過ごしてしまうことに目が向いたり、自分の興味のあることに取り組んだり、それぞれに有意義な時間を過ごしたと思います。学校生活とは違う時間の流れの中で得た経験や気づきが、これからの学びや成長につながることを期待するとともに、学校でも働きかけたいと思います。

8月は、戦争について考える機会の多い月でした。私が教員になったころ、戦争を身近に感じられていた先輩教職員方から「教え子を二度と戦場に送らない」という言葉を聞くことができました。当時は、その言葉の重みを十分に理解できていなかったかもしれません。しかし、年月を重ねる中で、その言葉を思い出しながら、戦争によって失われた多くの命や日常、未来について、自分なりに想像力を働かせて考えるようになりました。

戦争を直接知る世代が少なくなる中、悲惨な経験や平和への願いを語り継ごうとしている多くの方々がおられます。今を生きる私たちは、その思いを受け止め考え続けていくことが大切なのだと思います。子どもたちには、様々な人々との出会いを通して視野を広げ、困難な場面にあっても、対話をしながら解決の道をともに探ろうとする姿勢を育てほしいと願っています。そして、私たち身近な大人が、その姿を子どもたちに示していけるよう努めていけたらと思います。

さて、冬休みまでの約4か月間に、遠足や体験学習、運動会、全校遠足等、多くの行事が予定されています。子どもたちは、行事を通して、友達と協力することの大切さを学び、自分の役割に責任をもって取り組みながら大きく成長していきます。6月号でもお伝えした通り、行事を通した様々な活動の中で見ることでできる子どもたちの力には、私たち教職員も驚かされることがあります。

また、行事だけでなく、日々の授業を大切にしたいと考えています。子どもたち同士の交流の場を設け、子どもの脳が活発に働く授業を目指し、職員同士が楽しみながら授業づくりができることが、よい学校づくりにつながると考えています。職員全体で対話をしながら、力を合わせて教育活動に取り組んでまいります。

保護者や地域の皆様と協力し合いながら子どもたちの成長を支えていきたいと思いますので、引き続き、本校の教育活動へのご協力をよろしくお願いいたします。